

丹波古文書倶楽部会報
古文書かわら版

第15号

事務連絡(高札場)

☆ 十一月例会について

日時 12月9日(土)
午前10時

会場 柏原住民センター

会場準備(敬称略)

山内順子、塩見義則、芝本満

☆ 忘年会の実施

日時 12月9日(土)

午後一時半

場所 未定(柏原町内で検討中)

参加者調査 11月例会で

☆ 一月例会

日時 1月13日(土)

午前10時

会場 柏原住民センター

会場準備(敬称略)

森田尚典、小島紀夫、久保小枝子

◎ 資料#21京都大火日記配布中

矢持副代表から受取して下さい。

◎ 29年度フィールドワークの報告

10月14日(土)午後一時半

山南町慧日寺にて参加者42名、

(うち当会員20名、1名招待者)

今回の特徴は、資料用写真撮影

発行・編集者 延陽伯こと岸孝明
発行所 丹波古文書倶楽部
連絡先 090-8882-5567

を会員の山内順子さん、禅宗様建築と檜皮葺の説明 講師役を友井辰哉さんが勤めて戴いた点です。

これまで以上の手作りF.Wとして、会員の力量が発揮できたことは意義深いものがあります。また、住職やマスコミ各社の広報協力もあって、会員外の参加者が多かったことも特筆されます。

参加された皆様、ご協力有難うございました。(小西矢持)

※資料残部有、1部200円

情報発信(みちこるべ)

☆ 第4回歴史TAKEDA

主催 竹田地区自治振興会

会場 竹田コミュニティセンター

11月25日(土)午前10時~12時

テーマ 伊都伎神社の獅子狛犬

講師 ナビゲータ山内順子さん

参加費500円、資料(カラー)お菓子お茶付 申込不要 問合先

青木さん(080038257513)

☆ 第4回歴史TAMBA

主催 柏原自治協議会

会場 柏原自治会館

11月17日(金)10時半~12時

講師 白石雅之氏(社寺彫刻研

究者)

テーマは「社寺彫刻で巡る丹波」
参加費300円、申込先柏原自治協議会(0795730198)

☆ 丹波市教委 第4回歴史講座

主催 丹波市教委文化財課

11月18日(日)13:30~15:00

会場 青垣住民センター

講演 幕末期旗本平岩氏の家政

について 講師平岩泰典氏

※ 当会会員、是非、御参加を

☆ 神戸大学地域連携センター

第15回歴史文化をめぐる地域連携協議会(予告)

日時 1月28日(日)10時

於 神戸大学 詳細は次号発表

自己紹介(口よ)

篠山市 森本恵美子様

私自身もとも20代の頃から神社仏閣を尋ねることが好きでした。そんなことから市の文化講座にサポーターとして10年余り、手伝ってきました。

その中で地元や各地の文化財を訪ねるようになり、ますます歴史探訪の壺にはまっています。

古文書はそのサポーターの方に誘われて苦手の文系に足を踏み入れることとなりました。

少し読める様になると江戸の日

常や村々のきまり、生活などを垣間見る楽しみができました。又、現代よりずっと事細かに村々の下部組織まで沢山の記録を残して残していた事実は驚きでした。

昔も大きな地震津波などの災害が時にあった事などの記録も四苦八苦しながら読むと、今に生かせることもあるのではと思ったりします。

先生が時代の仕組みや関連する事柄等を詳しく、沢山、解説して下さいるのも、とても興味深く、楽しませてもらっています。

今後共、末永くよろしくお願致します。

特別寄稿(読み売り)

丹波古文書倶楽部の歩み(3)

前代表 川口利和

2013年度は役員がくずし字読解に難渋した経験があったことで、初心者向けに古文書講座テキストの予習復習会を開催しました。4月講座終了後に同一会場で役員が主に説明し、参加者が質問等をする手法で開催したのですが、参加者が少ないことで極めて濃密な会でした。残念ながら、途中から初心者の参加が見込めなくなり、やむなく開催途中で終了といたしました。原因は不明ですが、ひよこしたら、小さな親切が寇になっていたのかもしれません。

また、この年度はできる限り早く同種地域団体との交流を進めよとの趣旨で、講座以外の大きな事業であるフィールドワークを2回開催し交流のスピードアップを図りました。7月は氷上郷土史研究会、1月は市島町史実研究会にお世話をいただき、各団体とも古文書の展示、所属の会員参加を促すなど絶大な協力をお願いしました。

7月の内容は丹波市立水分れ資料館での氷上回廊同関連古文書の解説鑑賞、いそ(山篇に石)部神社での縁起等の解説現地視察、1月は湯長谷藩丹波領代官 依田家文書」の鑑賞 解説、天保8年(1837)当時の下竹田村全景、安永元(3年(1772)~1774)間の竹田川河川工事、湯長谷藩代官所跡などの解説現地視察でありました。

事業は①例月講座(現行と同様に、原則毎月第2土曜日、10:00~2時間、年12回、会場は主に柏原市民センター)、②フィールドワーク(7月講師:氷上郷土史研究会(氷上町)会長、1月講師:市島町史実研究会(市島町)役員)、③新年会(1月)、④総会(3月)でした。倶楽部発足後3か年経過したことで年間事業の定着化が促進された時期でもありません。会員数は44名でした。

2014年度は前年度同様にフィールドワークを2回開催しました。7月は本郷古文書を読む会、12月は柏原町上小倉在住の飯谷幹夫氏にお世話になりました。7月は本郷

公民館での田地寄進状等の古文書解説 洪水対策奉行所裁定等の鑑賞、味耜高神社 諏訪神社 法長寺、本郷舟座の縁起等解説 現地視察、12月は上小倉公民館での村掟村絵図等の古文書解説 鑑賞、刈野神社 貞成寺の縁起解説 現地視察でした。本郷古文書を読む会、飯谷幹夫氏とも公民館の手配 古文書の展示、駐車場の確保等に対して、同読む会、地元自治会等の所属講師会員からご協力を賜りました。

事業は①例月講座(現行と同様に、原則毎月第2土曜日、10:00~2時間、年12回(補講含む)、会場は主に柏原市民センター)、②フィールドワーク(7月講師:本郷古文書を読む会(氷上町)代表講師、12月講師:飯谷幹夫氏(柏原町))、③忘年会(12月)、④総会(3月)でほぼ前年度並み、会員数は39名でした。



※掲載写真はできる限り個人が特定できないようになっています。掲載の写真と寛大なる心でご容赦願います。

★フィールドワークの場面(2013/7)



★フィールドワークの場面(2014/1)



★フィールドワークの場面(2014/7)



★フィールドワークの場面(2014/12)

編集後記(金棒引き)

第14号はクーラーの下で6月、今号は暖房の下で二か月ぶりに書いています。月日の経つのは早い！福知山の天法(株)、橋本さんと言つ方から、修理中の仏像から出た古文書を読んで依頼されましたが、全く歯が立たず、伝手を頼って市島町史実研究会の阪谷澄雄様に解説して戴きました。自分の不勉強、努力不足を痛感した次第です。今年も残り少なくなりましたが、来年こそ、私は古文書が少しは読めます、と言えるレベルにならねば、と気持ちだけは高揚しています。